

しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 14
令和5年12月22日

課題を解決する3つの考え方！

1年の中で一番長く多忙だった2学期も明日で終わります。みなさんが主体的に行事に向き合い『自分たちで創り上げる』行事は、見ていて頼もしくなりました。行事といえば、文化祭です。みんなで協力して創り上げた文化祭は創造性豊かに表現され、大いに楽しませてくれました。それに、自分たち自身が楽しみながら発表している姿にも感動しました。11月には、2年生のトライやる・ウィークや1年生のものづくり体験とわくわくオーケストラがありました。どの学年も主体的に活動ができ、ケガ人やトラブルもなく、しっかりと活動してくれました。『自分にできる精一杯の努力』ができるみなさんですから、見ていて本当に安心でした。



今回は、3学期に向けて『課題を解決する考え方』の話をします。自然災害などの不可抗力は別として、「課題」は対人関係から生じることが多くあります。学校内外での人間関係、地域の方々との人間関係、家庭内での人間関係等々です。自分を巡る様々な関係の中で私たちは生きているので、そこから生じる「課題」は、次の3つの考え方で、改善できると考えます。

1つ目は、【いままで通りでは、解決できない】人は、課題にぶつかったとき、了見が狭くなり、今までの方法に固執しがちです。しかし、東洋古典の「易経」に「窮すれば通ず」とあるように、他の解決方法にも視点を向けてみましょう。今の方法以外の道はないかと考え直しているうちに、意外に道が開け、なぜ今まで気がつかなかったのだろうと思うことがしばしばあります。

2つ目は、【今すぐには解決できない】課題を解決するタイミングは早いに越したことはありませんが、課題解決のために、いますぐにやるべきことなのか、時間をかけてじっくりやるべき事なのか、タイミングを考えて行動することが大切です。

しかし、課題が発生したら、解決の糸口が見えなくも、まずは、その日のうちに対応し、解決しようとする意思を示すことが大切です。「急いては事を仕損じる」「急がば回れ」ということわざがありますので、良い事は遅くても構わないのですが、悪い事は、早急に対応していくことが重要です。

3つ目は、【一人では解決できない】解決への道筋を探るとき、第三者の意見を参考にすることが大切です。最後には、自分が決断するのですが、「三人寄れば文殊の知恵」とあるように、思いがけないヒントを得られることがあるものです。

一人で思い悩む必要はありません。いろいろな人の意見に耳を傾け、熟慮を重ねた上で、問題解決への道突き進むべきだと考えます。「案ずるより産むがやすし」とは、なるほどと思わされる名言ですよ。

目の前のことにしっかりと向き合い「自分にできる精一杯の努力」が成功につながります。そんな素敵な1年になるように、よい新年を迎えてください。

校長 高森 伸彦

「暴力団追放及び薬物乱用防止教室」 と 「親子人権講演会」

暴力団追放兵庫県民センターから、大麻などの薬物乱用防止や大きな犯罪組織から身を守る方法等を学びました。また、あいおいニッセイ同和損保から、SDGsの観点から、健康と福祉・教育の平等・ジェンダーの平等・平和と公正などの人権について講演していただきました。生徒は、どちらの講演にも真剣に耳を傾けていました。



第72回近畿中学校駅伝競走大会

各府県の代表チームが、和歌山県田辺スポーツパークにおいて激戦を繰り広げました。インフルエンザや体調不良者が出て、万全ではありませんでしたが、応援団42名の声援を受け、13位でゴールしました。

大会終了後の挨拶では、3年生が2年生に来年に向けてのエールを送り、後輩がそれを受け、「全国大会出場を目標にがんばります」と力強く宣言していました。

